

平成 19 年 6 月 30 日（土）にダイヤ改正を実施

～ 犬山線・河和線で一部特別車特急の運行を開始～

名古屋鉄道は、鉄道サービス向上策の一環として、「便利なダイヤ」「利用しやすい特急列車」を実現し、利便性をさらに向上させることを目的に、6 月 30 日（土）から名古屋本線・犬山線・河和線・常滑線・空港線・三河線などを中心にダイヤ改正を実施します。

弊社は、「利用しやすい特急列車」を実現するため、平成 20 年度までに中部国際空港アクセス特急「ミュースカイ」を除く全ての「全車特別車特急」を、「一部特別車特急」に変更する計画に取り組んでおります。

同計画の第一段階として、今回のダイヤ改正で一部特別車特急車両 2200 系を 30 両（6 両組成×5 編成）新造し、犬山～知多半田方面で運行している全車特別車特急のうち、およそ半分を一部特別車特急に変更します。これにより同区間では特急ご利用の際に、特別車と一般車を選択して乗車することができるようになるなど、利便性が向上します。

このほか、朝間帯における中部国際空港アクセスと名鉄名古屋方面への利便性向上などを図ります。

今回のダイヤ改正の主な内容は下記の 3 点です。

< ダイヤ改正の主な内容 >

- 1 犬山～知多半田方面のミュースカイを除く全車特別車特急のうち、およそ半分を一部特別車特急に変更
- 2 朝間帯における中部国際空港アクセスと名鉄名古屋方面への利便性向上
- 3 最終列車の繰り下げや接続の改善、組成増強を実施

ご案内

この資料の表中、名古屋＝名鉄名古屋、空港＝中部国際空港、岐阜＝名鉄岐阜、一宮＝名鉄一宮をそれぞれ表します。
 運行状況などにより乗り換え駅で接続できない場合もございます。予めご了承賜りますようお願いいたします。
 ダイヤ改正の内容は、名鉄ホームページで 5 月中旬以降に閲覧可能となる予定です。また、時刻表は 5 月中旬から下旬に発売開始する予定です。

1 全車特別車特急のおよそ半分を一部特別車に変更 犬山線・河和線

【平日・土休日とも】

犬山方面～知多半田方面間では、平日早朝の1本(新鵜沼6:18発 特急豊川稲荷行き)を除き、全ての快速特急・特急を「全車特別車」で運行していましたが、このうちおよそ半分を「一部特別車」で運行します(空港アクセス特急「ミュースカイ」を除く)。平日1日あたりの名古屋方面への特急運行本数の変化は下記のとおりです。

< 平日一日あたりの名古屋方面への特急運行本数の変化 >

運行本数	犬山 名古屋方面			知多半田 名古屋方面		
	現行ダイヤ	新ダイヤ	運行本数の差	現行ダイヤ	新ダイヤ	運行本数の差
空港アクセス特急	14本	15本	1本	—	—	—
全車特別車特急	23本	6本	17本	32本	15本	17本
一部特別車特急	1本	17本	16本	0本	17本	17本
合計	38本	38本	0本	32本	32本	0本

< 犬山と知多半田からの平日名古屋方面ゆき特急ダイヤの変化 >

犬山駅発(名古屋方面) 平日 特急時刻表

改正前	改正後
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16
17	17
18	18
19	19
20	20
21	21
22	22

知多半田駅発(名古屋方面) 平日 特急時刻表

改正前	改正後
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16
17	17
18	18
19	19
20	20
21	21

凡例 :00...一部特別車 00...全車特別車(ミュースカイ) 00...全車特別車(1000系)
 行先欄 豊川 = 豊川稲荷、内・河 = 内海・河和、空港 = 中部国際空港、鵜・可 = 新鵜沼・新可児

2 朝間帯における中部国際空港アクセスと名古屋方面への利便性向上

< 中部国際空港アクセス > 名古屋本線 犬山線

名古屋本線

名鉄岐阜から中部国際空港行き特急(一部特別車)を新設 【平日】

かねてから要望が多かった岐阜方面から中部国際空港に朝 8 時頃到着する空港アクセス特急増強のため、名鉄岐阜 6:50 発 一部特別車特急 中部国際空港行き(2200 系 8 両)を新設します。これにより岐阜・一宮方面からの中部国際空港アクセスを増強するとともに、朝間帯の名古屋方面への輸送力を高めます。

< 新設列車 >

列車	岐阜発	一宮発	名古屋着	金山着	空港着	備考
特急 空港行き (一部特別車)	6:50	7:01	7:16	7:20	7:55	笠松(6:55) 特別停車

犬山線

犬山方面から河和・内海行き特急を中部国際空港行きに変更 【平日】

犬山方面から朝間帯の中部国際空港アクセスを向上させるため、新鵜沼 7:30 及び新可児 7:13 発 全車特別車特急河和・内海行き(1000 系 8 両)を新鵜沼 7:16 及び新可児 7:01 発 全車特別車快速特急 中部国際空港行き(2000 系ミュースカイ 8 両)に変更します。

< 変更列車 >

区分	列車	新可児発	新鵜沼発	犬山発	名古屋着	空港着	備考
改正後	快速特急 空港行き	7:01	7:16	7:28	7:56	8:29	全車特別車 (ミュースカイ) 犬山で併結
改正前	特急 河和・内海行き	7:13	7:30	7:38	8:06		全車特別車 犬山で併結

< 名古屋方面 > 名古屋本線 常滑線 犬山線

名古屋本線

(1) 名古屋方面 急行列車を特急列車に格上げ 【平日】

豊橋から名古屋方面への速達性を高めるため、豊橋6:59発 急行 佐屋行き(8両)を、同時刻発の一部特別車特急 新鵜沼行き(8両)に変更します。これにより同列車の名鉄名古屋への到着時刻が6分早まるとともに、平日の始発から7:25までの間、豊橋から名古屋方面に向かう列車は全て一部特別車の快速特急または特急となります。

< 変更列車 >

区分	列車	豊橋発	名古屋着	備考
改正後	特急 新鵜沼行き	6:59	7:55	一部特別車
改正前	急行 佐屋行き	6:59	8:01	

(2) 男川に名古屋方面快速急行及び急行の特別停車を実施 【平日】

男川(おとがわ)から名古屋方面への利便性を高めるため、快速急行 名鉄岐阜行き(男川6:43発)及び急行 佐屋行き(男川7:22発)の2本を特別停車します。これにより同駅6時台及び7時台の名古屋方面への列車本数は毎時3本から4本に増加します。

< 男川駅 平日6時台・7時台 名古屋方面時刻表 >

(改正前)	種別	行先	男川発	(改正後)	種別	行先	男川発	備考
	普通	一宮	6:06		普通	一宮	6:06	
	普通	岩倉	6:29		普通	須ヶ口	6:29	
	普通	須ヶ口	6:57		快速急行	岐阜	6:43	特別停車
	-	-	-		普通	岩倉	6:57	
	普通	新安城	7:07		普通	新安城	7:07	
	普通	東岡崎	7:18		普通	東岡崎	7:16	
	普通	犬山	7:43		急行	佐屋	7:22	特別停車
	-	-	-		普通	犬山	7:43	

常滑線

(1) 名古屋方面 特急の新設 【平日】

中部国際空港 7:40 発 名鉄名古屋行き一部特別車特急(2200系6両、太田川から増結して8両)を新設し、通勤・通学時間帯の名古屋方面への運行頻度を高めます。

< 新設列車 >

列車	空港発	常滑発	太田川発	金山着	名古屋着	備考
特急 名古屋行き	7:40	7:44	8:04	8:18	8:25	一部特別車

(2) 金山行き特急を名鉄名古屋行き特急に変更 【平日】

常滑方面から名鉄名古屋への利便性を向上させるため、中部国際空港 7:18 発 金山行き全車特別車特急(2000系「ミュースカイ」8両)を、同駅 7:08 発 名鉄名古屋行き(同)に変更します。

< 変更列車 >

区分	列車	空港発	常滑発	金山着	名古屋着	備考
改正後	特急 名古屋行き	7:08	7:12	7:42	7:47	全車特別車
改正前	特急 金山行き	7:18	7:22	7:51		全車特別車

(3) 早朝の名古屋方面 到着時刻の繰り上げ 【平日・土休日とも】

太田川 5:31 発 普通 金山行きを始発列車として新設します。これにより途中停車駅から名鉄名古屋への到着時刻が繰り上がるほか、太田川から名鉄名古屋への早朝到着可能時刻が 12 分繰り上がります。

< 太田川から名古屋方面への早朝到着時刻の繰り上げ > (平日)

区分	列車	太田川	新日鉄前	聚楽園	名和	柴田	大同町	大江	道徳	豊田本町	金山着	名古屋着
新設	普通 金山行き	5:31	5:34	5:36	5:38	5:40	5:42	5:44	5:46	5:48	5:52(止め)	5:59(注)
既存	急行 岐阜行き	5:51						5:58			6:05	6:11
既存	普通 新鵜沼行き	5:52	5:55	5:56	5:59	6:01	6:03	6:05	6:08	6:09	6:14	6:21

(注)名古屋へは金山で5:55発 急行 岐阜行きに乗り換えた場合の到着時刻です。

太田川～豊田本町間の時刻は発車時刻です。

犬山線

早朝の名古屋方面 到着時刻の繰り上げ 【平日・土休日とも】

名古屋方面への始発電車である岩倉 5:29 発 急行 中部国際空港行きを同駅 5:23 発 普通 中部国際空港行き(名鉄名古屋から急行)に変更します。これにより岩倉～名鉄名古屋間の普通停車駅における始発列車の名鉄名古屋到着時刻が平日で最大 27 分(土休日は 28 分)繰り上がります。

< 岩倉から名古屋方面への途中普通停車駅・早朝到着時刻の繰り上げ > (平日)

区分	列車	岩倉	大山寺	徳重・名古屋芸大	西春	上小田井	中小田井	下小田井	東枇杷島	名古屋着
改正後	普通 空港行き (名古屋から急行)	5:23	5:25	5:27	5:29	5:32	5:34	5:36	5:38	5:43
改正前	急行 空港行き	5:29			5:32	5:35				5:43
既存	普通 東岡崎行き	5:51	5:53	5:55	5:57	5:59	6:01	6:03	6:06	6:10

岩倉～東枇杷島間の時刻は発車時刻(栄生は省略)

3 最終列車の繰り下げや接続の改善、組成増強

三河線

知立から豊田市方面への最終列車を新設し
名古屋から豊田市方面への最終列車発車時刻を繰り下げ 【平日】

今後、需要増が期待される豊田市方面への利便性を高めるため、知立からの最終列車として 23:49 発 普通 猿投行き(2両)を新設します。これにより知立から豊田市方面への最終列車の発車時刻が 23 分繰り下がります。また、名鉄名古屋から知立で乗り換え豊田市方面に向かう場合、当該新設列車に接続する名鉄名古屋発の最終列車は 23:18 発 一部特別車特急 伊奈行きとなり、名鉄名古屋駅の発車時刻がこれまでより 18 分繰り下がります。

< 名古屋 三河線・豊田市方面への最終接続 >

区分	列車	名古屋発	知立				豊田市着	備考
			着	(乗換え)	列車	発		
改正後	特急 伊奈行き	23:18	23:38		普通 猿投行き	23:49	0:11	知立 - 猿投間 新設
改正前	特急 国府行き	23:00	23:20		普通 猿投行き	23:26	23:51	

各務原線

名鉄岐阜～三柿野間で列車増発、名鉄名古屋方面から三柿野方面への接続改善 【土休日】

土休日の17時～20時台に名鉄岐阜発 普通 三柿野行きを毎時2本増発します。これにより、名鉄名古屋方面からの一部特別車特急との接続時間の短縮(最大18分 6分)を図ります。

蒲郡線

蒲郡駅におけるJR 東海道本線との接続時間の改善【平日・土休日とも】

JR 豊橋方面からJR 蒲郡に到着する列車との接続時間がこれまでの2分程度から4分程度となるように名鉄蒲郡発 普通 吉良吉田方面の発車時刻を変更します。また、JR 蒲郡からJR 名古屋方面に向かう列車との接続時間がこれまでの7分程度から5分程度となるように、吉良吉田方面からの普通 蒲郡行きの発車時刻を変更します。

名古屋本線等

組成増強 【平日】

お客さまセンターのほか各現場等に寄せられたご意見をもとに、混雑度の高い朝間帯や最終列車などの組成増強を以下の各列車で行います。

< 増結する列車 >

増結列車	車両数
津島7:12発 普通 一宮行き	2両 4両
始発～8時台に知立駅発着の三河線列車(知立～猿投・碧南間)	全て4両化
弥富23:10発 (名古屋23:48発) 準急 東岡崎行き	4両 6両
東岡崎23:18発 (名古屋24:00発) 快速急行 岐阜行き (東岡崎～知立間は普通)	4両 6両
須ヶ口23:26発 (名古屋23:40発) 普通 太田川行き	2両 4両

以上